

アジア政経学会 2010年度第1回評議員会 議事録

1. 日時 2010年5月22日(土) 12:30~14:00
2. 会場 北海道大学スラブ研究センター 4階小会議室
3. 理事総数 17名
4. 出席者 2名(国分、末廣)
5. 委任状提出 10名
6. 出席者合計 12名
7. 議長 高原理事長
8. 議事

(ア) 定刻に、高原理事長が議長席に着き開会。まず、総務担当・園田理事より本日の出席者は12名(委任状による表決者を含む)にて、定足数9名以上を満たしているので、本評議員会は有効に成立している旨の報告があった。引き続き、本評議員会の議事録署名人として、国分良成氏、末廣昭氏の2名を指名し、両氏はこれを受諾した。その後直ちに議案の審議に入った。

(イ) 前回(2009年10月10日)評議員会議事録の確認を行った。

議案1 2009年度決算報告について

梶谷理事(財務担当)より報告が行われ、審議の結果、これを承認した。

議案2 2010年度予算計画について

梶谷理事(財務担当)から、前回の理事会での議論を踏まえ、予算書の数値を修正した旨の報告があった。精査した結果、計算ミスが2か所あったので、これを修正した上で予算案を承認した。

議案3 2010年度活動計画について

園田理事(総務担当)より、2010年度の活動計画案をもとに報告が行われ、これを承認した。

議案4 本年度西日本大会(京都大学)の準備状況について

竹中理事(研究担当)より、すでにホームページでプログラムの閲覧と論文のダウンロードが可能な状態になっている旨の報告があった。

議案5 本年度全国大会(東京大学駒場キャンパス)の準備状況について

竹中理事(研究担当)より、前回の理事会での谷垣理事(大会実行委員会委員長)

竹中理事（研究担当）より、前回の理事会での谷垣理事（大会実行委員会委員長）の報告を踏まえ、早急に自由論題・自由応募分科会の公募を行う旨の報告があった。

議案6 『アジア研究』の編集状況について

高橋理事（前編集担当）から、『アジア研究』第56巻第1・2合併号の編集状況について説明があり、了承された。

議案7 ニュースレターの編集およびホームページの改訂について

澤田理事（広報担当）と丸川理事（ニュースレター担当）が欠席だったため、園田理事（総務担当）から、Paypalの停止に伴うウェブサイトからの関連項目の削除など、ルーティンをこなしているとの報告があった。

議案8 公益法人制度改革について

高橋理事（公益法人制度改革担当）と田村理事（公益法人制度改革担当）から、今後の制度改革にかかわるスケジュールの確定が重要であるとの指摘がなされ、次回の理事会以降本格的な論議を行うこととなった。

議案9 入・退会者について

園田理事（総務担当）より、今回の入会申請者には、1名及び2名の推薦者が欠けているため、これをどう処理するか検討してほしいと提案され、協議の結果、1名の推薦者が不足している場合には、書類を精査した上で高原理事長が、2名不足している場合には高原理事長と園田理事（総務担当）が推薦者となることが決まった。

<新入会> 刘屹、岡本至、荒木徹也、池田真也、大山宜男、池炫周・直美、李佳、島林孝樹、河野元子、曾妙慧、徐輝、小野寺三寛、チョロモン、娜仁高娃、Suahasil Nazara、樋渡類、萬行英二、櫻井次郎、神谷志穂実（再入会）

<退会> 鄭君愚、高井晋

<逝去> なし

<休会> 林賢参

<優待申請> なし

議題10 名誉会員の推薦について

高原理事長から、学会への寄付を含め、本学会への多大な貢献から、今年度に70歳になられた毛里和子先生を名誉会員に推挙したい旨提案があり、全会一致で可決された。

議題 11 巖南堂書店を通じた学会誌の流通について

大橋理事（編集担当）から、巖南堂書店の経営撤退に伴い、従来の学会誌流通のルートを再考する必要があるとの指摘を受け、今後、紀伊国屋書店との連携を含め、適切な流通ルートを開拓する必要性をめぐって論議された。

議題 12 研究会の実施について

金子副理事長から、定例研究会の設置に関する内規（案）が提示され、実施・運営組織、実施方法、報告の募集要領、インセンティブについて提案がなされた。討議の結果これを了承し、会員向けメーリングリストを通じて定例研究会での報告者を募ることとなった。

以 上

高原理事長が午後 14 時 00 分、閉会を宣言して審議を終了した。

以上の決議を明確にするために、議長及び議事録署名人は次の通り署名、押印する。

平成 22 年 5 月 22 日

特例財団法人アジア政経学会

議長

高原 明 生



議事録署名人

(玉) 分 良 成



議事録署名人

末 廣 昭

